

令和元年度 マネジメント所属別集計表

		教育長 マネジメント	部長 マネジメント	課長 マネジメント	合 計	
生涯学習部	1	総務課	0	0	1	1
	2	生涯学習課	1	2	1	4
	3	市民スポーツ課	0	2	0	2
	4	施設課	0	1	0	1
	5	中央公民館	0	0	2	2
	6	中央図書館	0	0	1	1
学校教育部	7	学校教育課	1	3	6	10
	8	教育相談課	0	1	2	3
	9	学務課	0	0	1	1
	10	学校給食課	0	0	2	2
	11	教育研究所	0	1	2	3
	12	学校給食センター	0	0	1	1
生涯学習部 計		1	5	5	11	
学校教育部 計		1	5	14	20	
合 計		2	10	19	31	

令和元年度マネジメント達成状況一覧表

マネジメント区分	No.	事務事業名	達成状況				主管課
			達成	概ね達成	一部達成	未達成	
教育長 マネジメント	1	地域学校協働活動推進事業	○				生涯学習課
	2	小中一貫教育の推進		○			学校教育課
生涯学習部長 マネジメント	1	給付型奨学金事業の実施	○				生涯学習課
	2	真和志南地区活き活き人材育成支援施設(仮称)整備事業	○				
	3	那覇市健康ウォーキング推進事業		○			市民スポーツ課
	4	全国高等学校総合体育大会開催事業	○				
	5	学校校舎等の改築及び耐震改修	○				施設課
学校教育部長 マネジメント	1	防災・減災教育等の推進		○			学校教育課
	2	校務支援システムの導入	○				
	3	問題行動に関する行動連携推進	○				教育相談課
	4	子どもの貧困対策の取り組み	○				
	5	初任者・中堅教諭等資質向上・その他研修事業	○				教育研究所
課長 マネジメント	1	組織体制における課題の整理				○	総務課
	2	放課後子ども教室推進事業	○				生涯学習課
	3	地域連携事業におけるNPO、大学、企業等との連携強化		○			中央公民館
	4	公民館講座事業(乳幼児学級、家庭教育学級、親子ふれあい教室)		○			
	5	図書館運営事業の指標と目標値の設定及び評価			○		中央図書館
	6	児童生徒の学力向上の取り組み		○			学校教育課
	7	英語教育の充実	○				
	8	道徳教育の充実	○				
	9	望ましい部活動等の指導の在り方の検討	○				
	10	県費負担教職員の適切な労務管理の実施		○			
	11	那覇市教育課程研究協議会		○			教育相談課
	12	不登校対策の取り組み		○			
	13	学習支援室の取り組み		○			学務課
	14	小学校入学準備金支給事業の実施	○				
	15	学校給食調理場改築事業		○			学校給食課
	16	学校給食調理業務委託事業	○				
	17	教育課題調査研究事業		○			教育研究所
	18	情報セキュリティと情報モラル指導及びプログラミング教育の充実		○			
	19	老朽化した給食センターの維持管理	○				学校給食センター

達成 (達成率:10割)
 概ね達成 (達成率:8割以上10割未満)
 一部達成 (達成率:5割以上8割未満)
 未達成 (達成率:5割未満)

16件	13件	1件	1件
達成	概ね達成	一部達成	未達成

令和元年度 教育長マネジメント一覧表

No.	事務事業名				
1	地域学校協働活動推進事業	目的・内容 学校と地域が一体となり子ども達の未来を創るため、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子ども達の学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働するための体制づくりを行う。	主管課	生涯学習課	
		年度目標 ①事業について、学校等への周知理解を得るため、説明会を実施、広報・啓発を行う。 ②アンケート調査及び他市町村等の情報を基にモデル校1校を選定。推進員の募集、委嘱、研修を行い、事業を開始する。	達成状況	達成	
		備考 (達成状況の説明) 那覇市地域学校協働活動推進員設置要綱等を整備。12月に協働活動推進員を委嘱し、モデル校に配置。教職員やPTA、地域の関係者に説明を行い事業を開始。 (今後の予定事項及び課題) モデル校での実施検証を踏まえ、仕組みづくりについて検討する。			
2	小中一貫教育の推進	目的・内容 義務教育9年間における学習指導や問題行動等の課題を改善していくため、発達段階に応じた系統的な特色ある取組を通した小中一貫教育を那覇市全小中学校で推進する。	主管課	学校教育課	
		年度目標 ①9年間でつきたい力を明確にした「小中一貫教育の目標」とグループの良さや課題を全校職員で共有し、各学年の発達段階に応じた系統的な特色ある取組の充実を図る(全グループにおける取組の実施)。 ②学習に関するテーマを設定してグループで研究に取り組み、指導力の向上や授業改善の充実を図る(8割以上の実施)。 ③小中合同生徒指導主事連絡会等を生かし、各グループの小中で情報を共有しながら組織的・継続的な生徒指導を図る(生徒指導部会の年3回以上の実施)。	達成状況	概ね達成	
		備考 (達成状況の説明) ①グループの課題や良さに対応した取組が共通実践として全グループに設定され、アンケートでも児童生徒の意識の向上に繋がっていたことから、取組の充実が図られたと考える。(共通実践の設定100%、学習や生活に関する児童アンケートにおいて、肯定的回答8割以上が13項目中10項目) ②学習に関するテーマが全グループに設定されたことにより小中合同授業研究会が焦点化した。(グループのテーマに沿った研修や研究会に関する教職員アンケートにおいて、肯定的回答が87%) ③生徒指導部会を年3回以上実施した学校の割合は95%。全グループの平均回数は6.5回であり、生徒指導における小中一貫のニーズが高まっていると捉えられる。 (今後の予定事項及び課題) 各グループにおける確立を目指す第3ステージに入るので、全ての学年や全ての教科の教員が同じ視点を持って、教員や児童生徒が主体的に取り組むことができる体制づくりが必要である。そのため、教科横断的な授業研究や児童生徒による自治的な活動に取り組む。			

令和元年度 生涯学習部長マネジメント一覧表

No.	事務事業名				
1	給付型奨学金事業の実施	目的・内容	学業成績が優秀で修学の意欲があるにもかかわらず経済的な理由で進学が困難な者に対し、沖縄県内の大学等への進学を支援するため入学金及び授業料に相当する額を事前給付する。	主管課	生涯学習課
		年度目標	①奨学生の選考を9月末までに行う。 ②奨学生が必要な時期に入学支度金・修学奨学金を円滑・確実に給付する。 ③継続の奨学生についての資格審査を、奨学金の給付に支障が出ないよう適切な時期に行う。 ④ホームページ掲載・市広報等により、制度の周知を行う。	達成状況	達成
		備考	(達成状況の説明) 奨学生に対して、必要な奨学金の給付を行った。 (今後の予定事項及び課題) 今後も奨学生が安心して進学・修学できるように給付等のサポートを行う。国による高等教育の修学支援制度を見ながら、制度等の見直しを検討していきます。		
2	真和志南地区生き生き人材育成支援施設(仮称)整備事業	目的・内容	真和志南地区生き生き人材育成支援施設(仮称)建設基本構想に基づき、多様な人材等を育成するため、人材育成支援施設を建設する。 令和元年度は、令和2年度の開館に向け、建築工事、備品整備、法令整備等を行う。	主管課	生涯学習課
		年度目標	①建築工事:10月中旬に工事完了、11月中旬に施設の引き渡し。 ②備品整備:備品ごとに納期が異なるため、11月末~3月下旬頃にかけて全ての備品等を納品。 ③法令整備:12月議会で条例案を提出、その他規則等についても年度内に整備。 ④講座・イベント等の企画立案:令和2年度開催講座・イベント等(案)を年度内に決定。 ⑤利用団体等の考え方の整理:施設における利用団体等の考え方を年度内に決定。	達成状況	達成
		備考	(達成状況の説明) ①建築工事については予定通り10月中旬に工事完了し、11月中旬に施設の引き渡しを受けた。 ②開館までに必要な備品類や図書類等を整備した。 ③⑤11月議会で条例を制定し、規則や要綱・施設利用の考え方等について整理した。 ④開館初年度の全体的な講座・イベント等(案)を立案した。 (今後の予定事項及び課題) 施設の整備事業は今年度で完了。施設開館後は、以下の事業等を行う予定。 ①沖縄振興に資する人材の育成講座等の開設 ②コミュニティのネットワーク化を図る場としての活用・住民等の外国人との国際相互理解を図る場としての活用 ③郷土、観光・経済、語学など特色のある図書資料等の整備		

令和元年度 生涯学習部長マネジメント一覧表

No.	事務事業名				
3	那覇市健康ウォーキング推進事業	目的・内容	<p>市民の健康への意識を醸成し、日常的な健康づくり活動を促進するため、以下に取り組む。</p> <p>①健康意識を高め、歩くことを習慣化させるきっかけづくりと地域リーダー育成を目的に、公民館と地域団体等が連携したウォーキング講座を開催する。また、講座からサークル活動への移行を支援し、継続的な活動を目指す。</p> <p>②各種団体等と連携し、健康づくり運動の啓発、広報活動を行う。</p> <p>③那覇市健康ウォーキング大会を開催し、ウォーキングの普及と健康意識の高揚を図る。</p>	主管課	市民スポーツ課
		年度目標	<p>①実行委員会の運営に支障のない収支確保を行う。</p> <p>②企業や地域団体、ウォーキング講座受講者向けに、健康づくりやウォーキングに関する講習や大会、サークル等の情報提供を行い、講座受講者のウォーキング継続希望率を90%以上とする。</p> <p>③健康ウォーキング大会は6～8コース程度、参加人数5,000人程度、継続参加希望90%以上を目標とする。</p>	達成状況	概ね達成
		備考	<p>(達成状況の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月10日(日)に「ひやみかちなはウォーク2019」を実施。全8コースで参加者数3,443人。アンケート結果では、次回も参加したい人が96.7%で、満足度は高い。 ・公立公民館と連携して、ウォーキング講座を実施。延べ234人が参加し、アンケート回答者の98.1%がウォーキングを続けたいと回答。 <p>(今後の予定事項及び課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング大会に関して、コース案内に関する要望が多かったため(表示が判りづらい等)改善する。 ・大会の参加者を増やすため、広報を工夫し、さらに楽しめる大会となるよう企画内容を検討する。魅力あるコース設定や、家族がそろって参加し、楽しめるような関連イベントの工夫・充実を図る。 		
4	全国高等学校総合体育大会開催事業	目的・内容	<p>令和元年度全国高等学校総合体育大会における那覇市開催競技「水泳(飛込・水球)、相撲、なぎなた競技大会」を実施するため、以下に取り組む。</p> <p>①那覇市実行委員会総会の開催</p> <p>②各競技種目別大会の開催及び運営</p> <p>③競技種目別大会ポスター・プログラムの作成</p> <p>④関係機関及び団体等との連絡調整及び会議の開催</p> <p>⑤広報活動の実施</p>	主管課	市民スポーツ課
		年度目標	<p>①相撲競技(7月26日～28日)、なぎなた競技(8月9日～12日)、水泳競技(飛込・水球)(8月16日～20日)の開催。</p> <p>②大会運営に支障をきたすことのないよう、各競技大会開催前に全ての準備を整える。</p>	達成状況	達成
		備考	<p>(達成状況の説明)</p> <p>年度目標を概ねスケジュールどおりに遂行した。関係機関・団体等の協力の下、無事、成功裏に大会を終えることができた。大会終了後、市・県補助金の清算及び実行委員会の解散総会を開催。</p> <p>(今後の予定事項及び課題)</p> <p>事業完了に伴い、令和2年3月末をもって高校総体推進室の廃止。次期開催(2029年度予定)に備え、関係資料の整理及び保管。</p>		

令和元年度 生涯学習部長マネジメント一覧表

No.	事務事業名				
5	学校校舎等の改築及び耐震改修	目的・内容	平成30年度終了時における学校校舎等の耐震化率は85.4%であり、耐震性のない校舎等が、全棟数226棟中33棟残っている。2023年度までに学校施設の耐震化を完了させるため、改築及び耐震補強を推進していく。	主管課	施設課
		年度目標	老朽校舎等の改築及び耐震改修事業に係る中・長期事業計画を再検討し、修正版を作成する。	達成状況	達成
		備考	(達成状況の説明) 12月に中長期計画について修正版を作成した。 (今後の予定事項及び課題) 令和5年度の耐震化完了の見通しは立っている状況。計画実行に向けて予算の確保についても引き続き関係部局との調整を行う。		

令和元年度 学校教育部長マネジメント一覧表

No.	事務事業名				
1	防災・減災教育等の推進	目的・内容	<p>災害発生時に児童生徒の安全を確保するため、各小中学校において防災・減災体制や避難方法などについての検討を行うとともに、確実な避難訓練を実施し、防災・減災教育を推進する。さらに、災害が落ち着いた後の学校再開マニュアルを作成する。</p> <p>また、防災以外の危機管理(学校事故や不審者等)についても、研修会の開催や情報の迅速な共有等を通して関係機関等との連携を密にし、学校を積極的に支援する。</p>	主管課	学校教育課
		年度目標	<p>①全学校において、学校の学校安全計画及び危機管理マニュアルの点検項目の見直しを行う。</p> <p>②保護者や関係機関へ迅速に連絡できる不審者連絡票の様式を開発する。</p> <p>③災害時における学校と教育委員会との連絡体制の構築(市立全小中学校の訓練実施)の取り組みを行う。</p> <p>④避難所運営マニュアルの共通理解と見直し、改善依頼を行う。</p> <p>⑤防災危機管理課と連携し、学校再開マニュアルを作成する。</p>	達成状況	概ね達成
		備考	<p>(達成状況の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に実施した那覇市教育委員会防災訓練では、全小中学校が参加して被害状況の伝達方法等の共通確認ができた。 ・防災危機管理課へ地域防災計画の課題点を指摘し、見直しへの重要性を伝えた。また、避難所を全庁体制で開設運営するよう提案し、地域防災計画に避難所について改善の方向へ向かわせることができた。 <p>(今後の予定事項及び課題)</p> <p>学校再開マニュアルの作成については、地域防災計画の見直し、避難所開設運営マニュアルが策定後に取り掛かる予定。</p>		
2	校務支援システムの導入	目的・内容	<p>那覇市教育情報化推進計画の策定を受け、教育研究所、関係機関と連携し、全小中学校への校務支援システムを導入し校務軽減を図る。</p>	主管課	学校教育課
		年度目標	<p>那覇市教育情報化推進計画の策定を受け、教育研究所、関係機関と連携し、全小中学校への校務支援システムを11月から稼働する。</p>	達成状況	達成
		備考	<p>(達成状況の説明)</p> <p>教育研究所、関係機関と連携し全小中学校へ校務支援システムを導入し11月から稼働している。12月より、各学校において、教職員向けに基本操作研修会を実施した。</p> <p>(今後の予定事項及び課題)</p> <p>校務支援システム利用規程や運用マニュアルに基づいて、各学校、稼働しているか確認する。</p>		

令和元年度 学校教育部長マネジメント一覧表

No.	事務事業名				
3	問題行動に関する 行動連携推進	目的・内容	<p>青少年に係る非行問題等を含め、その要因となる事象を分析し、各関係機関(教育相談課、児童相談所、子育て応援課、警察、学校、地域(自治会、青年会等))との総合連携により児童生徒の健全育成を目指し学校適応・社会適応を支援する。</p>	主管課	学校教育課
		年度目標	<p>①「那覇市いじめ防止対策連絡会」(2回)、「那覇市いじめ問題専門委員会」(3回)を今後も更に充実させる。いじめ問題専門委員会においては、事例協議を行うなど、取り組みを充実させる。 ②生徒指導主事連絡協議会、生徒サポーター会議、学校・警察連絡協議会等にて情報交換を密に行い、連携強化を図る。小中学校生徒指導主事を対象とした「生徒指導主事連絡協議会」を通して、問題行動への対処法や関係機関への繋ぎ方また、生徒指導に関する危機管理を伝達する。 ③「児童生徒が主体となり、魅力ある学校づくり」を今後も推進し、積極的生徒指導の観点から自治活動を活かした学校づくりの研修会を生徒指導主事連絡協議会で取り組む。</p>	達成状況	達成
		備考	<p>(達成状況の説明) ① 「いじめ」について学校側の知識も深まり、組織としての対応を意識して行われている。今後とも校内の「学校いじめ対策委員会」を中心とした組織的な対応の周知徹底をしていく。いじめ重大事態に関する調査委員会に関して、委員の理解のもと行われている。 ② 「問題行動を繰り返し起こす児童生徒への対応方法」について具体的な対応に関する研修、協議会を行った。 ③ 「児童生徒が主体となり、魅力ある学校作り」を今後も推進し、積極的生徒指導の観点から、小中学校で自治活動を活かした学校づくりの研修を1月の生徒指導主事連絡協議会で実施した。</p> <p>(今後の予定事項及び課題) ① 今後も積極的に学校訪問を行い、各関係機関との相談、助言等を通し、各学校へ生徒指導についての効果的な対応の周知に努めていく。 ② 「いじめ」について各学校で丁寧に対応し、いじめ解消率の改善を図る。</p>		
4	子どもの貧困対策の 取り組み	目的・内容	<p>各小中学校に子ども寄添支援員(SSW)を配置し、貧困家庭(準要保護世帯等)で不登校等の児童生徒の置かれた環境を確認し、学校、行政、家庭、地域などと連携して、必要な支援に繋げる。</p>	主管課	教育相談課
		年度目標	<p>① 支援に必要な知識等を習得するための研修を実施する。(年12回程度) ② 年間380人の児童生徒への支援を実施する。</p>	達成状況	達成
		備考	<p>(達成状況の説明) ・支援に必要な知識の習得、スキルアップに向けた研修を月1回以上実施した(計15回実施) ・学校や関係機関と連携しながら、児童生徒への支援を行った。 ・児童生徒への支援数 約410人(12月末時点)</p> <p>(今後の予定事項及び課題) ・小中学校を訪問して、支援が必要な児童生徒を把握し、関係機関と連携しながら必要な支援を実施する。 ・支援に必要な技能の確保や、技能の向上に向けた研修等を継続的に実施する。</p>		

令和元年度 学校教育部長マネジメント一覧表

No.	事務事業名				
5	初任者・中堅教諭等資質向上・その他研修事業	目的・内容	法定研修(初任研・中堅研)以外に、2・3・5年目等教職員のライフステージに応じて必要とされる基本的な資質能力の育成を中心とした研修を実施する。	主管課	教育研究所
		年度目標	①年間に計画されている法定研修(初任者研修:15回、中堅教諭等資質向上研修:13回)と、その他の研修・講座・協議会等:54回を確実に実施する。 ②受講者の研修に対する内容理解や考え方を把握しながら対応し、県内大学等の講師を活用する等研修内容の工夫や円滑な運営を図り、教職経験年数や職務内容に応じた研修を実施する。	達成状況	達成
		備考	(達成状況の説明) ・初任者研修(後半5回)、中堅研(後半4回)、その他の研修・講座(後半12回)を予定通り実施し、年間に計画されている法定研修と、その他の研修・講座・協議会:54回を計画通りに実施することができた。修了者数(初任研68名、中堅研32名、2年研70名、3年研57名、5年研37名) ・教職経験年数に応じた研修内容になるよう、検討を行い着実に実施することができた。 (今後の予定事項及び課題) ・研修をより充実させるために、外部講師として専門的な知識をもった大学教授等を活用する。 ・教職2年目研修、教職3年目研修、教職5年経験者研修の計画と円滑な運営を行う。 ・欠席者に対する補習等の対応策の検討を行う。		

令和元年度 課長マネジメント一覧表

No.	事務事業名				
1	組織体制における課題の整理	目的・内容	教育行政ニーズへの迅速かつ的確な対応が可能となる組織体制の構築のために課題を整理する。	主管課	総務課
		年度目標	「第3次那覇市教育委員会中期定員管理計画」を策定する。	達成状況	未達成
		備考	(未達成の理由) 計画策定に大きな影響を与える会計年度任用職員制度の運用状況、沖縄振興特別推進交付金事業終了後の事業展開、定年延長等が現状では見通すことができないことから、中期的方向性を示す計画策定は困難であると判断し、今年度の策定は見送ることとした。 (今後の予定事項及び課題) 中期定員管理計画の策定は、会計年度任用職員制度の運用状況や定年延長等を見据えながら検討する。 また、令和3年度以降の定員管理については整理した課題をもとに、状況の変化にも対応しながら組織体制の構築を図っていく。		
2	放課後子ども教室推進事業	目的・内容	放課後等の子ども達の安全・安心な居場所を確保することを目的としている。 学校施設等を活用し、子ども達に対して、伝統文化、スポーツ、学習支援などの多様な活動を提供する。	主管課	生涯学習課
		年度目標	①こども政策課と連携し、放課後子ども総合プラン協議会を全小学校区で開催する。 ②放課後子ども教室を35小学校区で実施する。(平成30年度末は34小学校区で実施)	達成状況	達成
		備考	(達成状況の説明) 説明会、運営委員会、コーディネーター連絡会、放課後子ども総合プラン協議会を予定どおり実施した。放課後子ども教室は36小学校区で開催し、目標を上回った。 (今後の予定事項及び課題) 既存の教室が次年度も継続して活動できるよう、地域や学校関係者との連携、調整を図っていく。		
3	地域連携事業におけるNPO、大学、企業等との連携強化	目的・内容	NPO、大学、企業等との連携を図るとともに、小学校区まちづくり協議会との連携を深め、学校を中心とした地域づくりに寄与する。	主管課	中央公民館
		年度目標	①公民館がNPO、大学、企業等と連携して実施している事業に、小学校区まちづくり協議会や地域の自治会等1団体以上の協力を目標とする。 ②地域イベント(実行委員会等)にNPO、大学、企業等1団体以上の協力を目標とする。	達成状況	概ね達成
		備考	(達成状況の説明) ①公民館がNPO、大学、企業等と連携して実施している事業に、新たに2団体の協力を得て実施することができた(首里公民館「食べっこ」)。 ②地域イベント(実行委員会等)に、多くの企業・団体の協力を得て実施することができた(いしんみ村あしび)。 (今後の予定事項及び課題) 地域のニーズ(企業等に求めること)とNPO、大学、企業等が出来ること、やりたいことのマッチングが課題。 今後も積極的に地域と関わり、共同して地域コミュニティの活性化に取り組む。		

令和元年度 課長マネジメント一覧表

No.	事務事業名				
4	公民館講座事業 (乳幼児学級、家庭教育学級、親子ふれあい教室)	目的・内容	公民館主催による乳幼児学級、家庭教育学級、親子ふれあい教室など親子で楽しみ、学びあえる学習プログラムを提供して、より良い親子関係づくりに寄与する。	主管課	中央公民館
		年度目標	①より多くの市民に家庭教育の大切さを知ってもらうために、カリキュラムの設定や広報を工夫し、前年度よりも受講者を増やす。 ②受講生へのアンケートによる満足度98%を達成する。	達成状況	概ね達成
		備考	(達成状況の説明) 予定どおり講座を開催することができた。 ①家庭教育学級及び乳幼児学級の受講者数は延べ1931名(前年度合計は1627名) ②家庭教育学級等の平均の満足度は97.3%(昨年の満足度95.2%) (今後の予定事項及び課題) 今後も地域課題に目を向け、家庭や地域の教育力向上に資する講座づくりに取り組む。		
5	図書館運営事業の指標と目標値の設定及び評価	目的・内容	図書館運営事業の指標と目標値を設定し評価することにより、市民への質の高い情報提供を目指して、図書館業務の充実を図る。 【指標】 ①レファレンス件数 ②おはなし会参加者へのアンケートによる満足度	主管課	中央図書館
		年度目標	①レファレンス件数:1,100件 ②おはなし会参加者へのアンケートによる満足度:5点満点中4.5点以上	達成状況	一部達成
		備考	(達成状況の説明) ①レファレンス件数は961件で、目標値1,100件を達成できなかった(年度目標①未達成) ②おはなし会参加者の満足度は、前年度とほぼ同じ5点満点中4.6点となっている(年度目標②達成) (一部未達成の理由) 近年の電子書籍の普及や図書離れ、新型コロナウイルスによる閉館などがあり、市立図書館の利用者が減少したこと、インターネット等により調べものの検索が容易になったことが、レファレンス件数の減少につながった要因と考えられる。 (今後の予定事項及び課題) 毎月第4土曜日におはなし会と合わせて、中央図書館ではおもちゃ病院を開催している。これにより、新たな利用者呼び込むことになる。令和2年度は、石嶺図書館と首里図書館にも拡充する計画がある。 また、南部徳洲会病院と連携して医療講座を1回(2日間)市民向けに行い、その中で図書館の紹介や大人向けのおはなし会を行った。令和2年度も継続して行い、利用者の増を図る。		

令和元年度 課長マネジメント一覧表

事務事業名					
6	児童生徒の学力向上の取り組み	目的・内容	児童生徒一人一人に確かな学力を向上させ、生きる力を育むために、学力向上計画の周知徹底を図り、日常的な授業改善を実施する。	主管課	学校教育課
		年度目標	①那覇市学力向上推進の重点取組事項(学級経営・授業づくり)について継続実践し、教師と児童生徒の意識を高める。 ②各種研修会において、諸学力調査分析及び改善策の提示や「ふくぎじんぶな～プラン」の活用を周知する。また、小中一貫教育の推進、教育課程協議会の小中合同研究部会において学習内容を意識した授業改善を図る。 ③幼児児童生徒の生活実態調査の実施・結果分析を行い、各教科等の関連した指導や保護者への啓発を充実させる。 以上の成果と課題をもとに令和2年度以降の学力向上推進計画の策定を行う。	達成状況	概ね達成
		備考	(達成状況の説明) 令和2年度以降の学力向上推進計画の策定に向けて検討委員会を10月～12月に開催し、「ふくぎじんぶな～プラン」の策定を進めている。 (今後の予定事項及び課題) 令和元年度の重点取組事項について各学校からの結果をもとにまとめる。年2回実施した生活実態調査の結果・分析を行い、各学校へ報告する。		
7	英語教育の充実	目的・内容	国際化が進む社会変化に対応するため、国際理解教育を推進し、小中学校における英語教育の充実を図る。	主管課	学校教育課
		年度目標	①新学習指導要領の内容に則した、小中連携した外国語教育を推進する。 ②中学校にて実施した各種調査の結果を、生徒の実態把握及び授業改善のための資料として活用することを促す。 ③英語指導員グループミーティングの活性化を図る。	達成状況	達成
		備考	(達成状況の説明) ①小中一貫(小中連携)合同授業研究会、校内研修、経年研修、計画訪問等での研修・指導助言の場にて、小学校及び中学校新学習指導要領の内容について周知を図り、小学校については、授業改善に踏み込んだ研修を実施することができた。 ②各小中学校で計画に沿って異文化交流会を実施し、英語学習や英語でコミュニケーションを図ることへの意欲喚起へ繋げている。 ③英語指導員のグループミーティングで、新学習指導要領内容についての研修や情報交換を行い、授業改善を図ることができた。 (今後の予定事項及び課題) ・小学校教諭と小学校英語指導員向けの、完全実施時に向けての体制等(時間割編成等)。 ・中学校外国語について、新学習指導要領に則した授業改善の促進 ・指導と評価についての説明や研修		

令和元年度 課長マネジメント一覧表

事務事業名					
8	道徳教育の充実	目的・内容	道徳の教科化に伴い、小学校はH30に実施している。中学校はH31に実施される。教員の指導力向上のための研修を充実させ、学校の教育活動全体を通じた道徳教育の充実を図る。	主管課	学校教育課
		年度目標	①学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実 ②道徳科の(量的な面と質的な面の)充実 ・量的な面:年間35時間の授業時数の確保 ・質的な面:道徳的価値の理解を基に、自分自身との関わりの中で、多面的・多角的な思考を通じて、考えを深める ③家庭・地域社会との緊密な連携による道徳教育の充実	達成状況	達成
		備考	(達成状況の説明) 予定通り教育課程研究協議会道徳部会を7回で収め、昨年度より回数を減らすことで研究員の負担軽減につなげることができた(昨年度は20回)。教育課程研究協議会道徳科部会では、11月に新教育課程の評価の説明及び授業研究会を実施した。公開授業で発問や板書の工夫の仕方について示し、授業研究会ではその理論(対称軸・時間軸・条件軸・本質軸の4つの軸の視点移動)を説明し、有効な指導法の一つとして提案することができた。 校内研修会(今年度は小中20校にて講話)においては、新学習指導要領等の周知及び評価について、そして那覇市の授業のスタンダードについて説明することができた。 (今後の予定事項及び課題) 2年かけて新教育課程の内容について周知することができたので今後は、道徳科を要として道徳教育の充実の支援を図っていきたい。		
9	望ましい部活動等の指導の在り方の検討	目的・内容	部活動等における望ましい指導の在り方について検討する。	主管課	学校教育課
		年度目標	①部活動主任研修会で、現状と課題について把握し、「運動部活動の在り方に関する方針」の周知を行う。 ②県方針を受け、「那覇市運動部活動の在り方に関する方針」の素案を作成し、策定に向け調整会議を行う。 ③各学校の「部活動方針」策定のフォローアップを行う。 ④市民スポーツ課と連携し、指導者研修会の充実に取り組む。	達成状況	達成
		備考	(達成状況の説明) ・部活動の現状の把握ができた。 ・那覇市方針の策定及び周知ができた。 ・部活動主任研修会では、市民スポーツ課と連携してスポーツ少年団指導者を交えた研修会がもてた。 ・文化部活動との調整検討会を進めることができた。 ・各学校の「部活動方針」策定の際の運動部活動と文化部活動の両方をひとつの方針として作成できる簡単な様式を作成し、フォローアップができた。 (今後の予定事項及び課題) 令和2年度に導入を計画している中学校における部活動指導員の円滑な導入に向けた取り組みを継続して行う。		

令和元年度 課長マネジメント一覧表

事務事業名					
10	県費負担教職員の適切な労務管理の実施	目的・内容	那覇市学校職員出退勤システムを活用して、各小中学校内に勤務する県費本務職員及び県費臨時的任用職員の出退勤を把握し、健康管理につなげる。少なくとも週1回の定時退庁を実施する。また、時間外勤務(平日16時45分以降の在校時間+休日の在校時間)が月40時間を超える教員については、健康状態の注視や業務相談の声かけなど適切な労務管理を学校長へ依頼する。	主管課	学校教育課
		年度目標	①打刻システム実施要領の遵守各学校へ依頼し、長時間勤務者を把握して適切な対策につなげる。 ②長時間勤務者を定時に退勤できる職場環境をつくるため、ノー残業デー(毎週水曜日)の定着を図る。	達成状況	概ね達成
		備考	(達成状況の説明) ①打刻システムを活用して、長時間勤務者を把握し適切な対策につなげることができた。 ②各学校へノー残業デーの取組の実施を促し、定着を図ることができた。 (今後の予定事項及び課題) 今後とも的確な勤務時間の実態把握に努め、教職員の働き方改革を推進していく。		
11	那覇市教育課程研究協議会	目的・内容	新学習指導要領の趣旨の実現に向け具体的な授業の工夫・改善について、授業公開及び授業研究会を実施し、モデルとなる学習活動を示すことで、周知を図る。	主管課	学校教育課
		年度目標	「目指す資質・能力の育成のための指導と評価の一体化を意識した授業改善について」のテーマのもと、各研究部会で実践研究を行い、その成果と課題を教育課程研究協議会にて説明する。	達成状況	概ね達成
		備考	(達成状況の説明) 新学習指導要領の趣旨の実現に向け具体的な授業の工夫・改善について、各教科におけるモデルとなる学習活動を示すことができたが、学習評価の在り方についての周知が不十分であった。 (今後の予定事項及び課題) 各教科における指導と評価が各学校で適切に行えるよう支援が必要である。		

令和元年度 課長マネジメント一覧表

事務事業名					
12	不登校対策の取り組み	目的・内容	不登校児童生徒に絡む要因となる事象を分析し、関係機関との連携及び不登校対策研修会を連動させることにより、児童生徒の学校適応・社会的自立に向けた支援をする。	主管課	教育相談課
		年度目標	①早期発見・早期対応ができる学校の支援体制の確立に向けた不登校等対策委員会の開催(毎月) ②不登校の状況把握に関する学校訪問の実施(5月)、毎月の問題行動等調査の分析から課題校への支援訪問 ③年2回の不登校対策研修会の実施(専門講師を招聘しての事例研修、自立支援学級での実践事例等) ④「なは市登校支援リーフレット」の活用促進(全小中学校への配信・配布、週案への貼付等) ⑤不登校対策支援事業(相談室はりゆん、きら星学級、むぎほ学級)の実施及び運営	達成状況	概ね達成
		備考	<p>(達成状況の説明)</p> <p>不登校の効果的な支援を行っている学校の訪問を実施。支援方針や具体的な支援内容、相談室の運用、居場所づくり等について説明を受け、他校へ紹介し、増加傾向にある学校の課題等を改善できつつある。不登校対策研修会では、外部講師により、これからの支援方針について研修を行った。第2回では、本市の不登校の現状についての共通確認、先進地での実践例として広島県福山市小中学校での取り組みを紹介し、学校で出来る組織体制について提案を行い、校内体制作りの重要性、継続的な支援の大切さの周知徹底を行った。</p> <p>(今後の予定事項及び課題)</p> <p>引き続き不登校児童生徒の増加が課題である。新しい文科省の通知に添った改善への支援に向けて登校支援リーフレットを改訂し、理解と確実な実施を依頼する。新たな不登校児童生徒を生まないための実践事例や先進地の事例を紹介し、周知と実践を継続的に支援していく。また、各種研修会で、最新の国の動向を周知するとともに、全職員体制で不登校児童生徒のアセスメントを行い、不登校対策・支援が講じられるように努める。</p>		
13	学習支援室の取り組み	目的・内容	学習支援室(ていんぼう)に支援員を配置し、不登校及び登校渋りのある児童生徒や、高校への進学を希望している過卒生を対象に、高校受検等に向けた学習支援を行う。	主管課	教育相談課
		年度目標	①1回目の学校訪問を、今年度も5月の早い時期に行い、不登校生徒や登校渋りのある生徒並びに過卒生の現状を早めに捉え、通常の「ていんぼう」と夏休み期間の「Summerていんぼう」の周知をする。 ②2回目の学校訪問を10月に行い、高校入試事前対策と夜間学習支援の周知をする。 ③個別の高校入試対策スケジュール表のモデルを作成する。 ④「ていんぼう」での様子や学習状況を定期的に学校(担任や生徒指導主事等)や保護者に提供する。 ⑤年間を通じて支援員3人体制とし、高校入試に向け学習支援充実を図る。	達成状況	概ね達成
		備考	<p>(達成状況の説明)</p> <p>10月から各中学校への学校訪問で夜間ていんぼうの周知を行い、12月から開設、学習支援を開始し、高校受検への学習支援充実、強化を図った。</p> <p>(今後の予定事項及び課題)</p> <p>高校入試に向け更なる学習支援の強化と、個別の計画表及び実績表の作成。</p>		

令和元年度 課長マネジメント一覧表

事務事業名					
14	小学校入学準備金支給事業の実施	目的・内容	小学校入学にあたり、経済的に困窮している世帯へ、入学準備金を支給する。	主管課	学務課
		年度目標	申請期間:8月16日～9月30日、支給決定通知:11月、支給月:12月	達成状況	達成
		備考	(達成状況の説明) スケジュールどおり、10月までに認定を終え、11月5日に決定通知を送付し、12月2日に振込を終えた。支給件数503件 (今後の予定事項及び課題) この事業は、次年度(令和2年度)から就学援助事業に統合となるため、申請方法や審査方法等が変更となる。 そのため、保護者及び学校、関係機関等への周知を早急に行う必要がある。		
15	学校給食調理場改築事業	目的・内容	老朽化した給食調理場の増改築について、優先順などの検討を加えながら進める。	主管課	学校給食課
		年度目標	①開南小学校給食調理場改築事業に係る建築基準法第48条(用途地域)の特定行政庁の許可を受け、基本設計を実施する。 ②与儀小学校給食調理場改築事業について、基本システム改革部会(ファシリティマネジメント)の審査を受け、令和2年度実施計画に計上する。	達成状況	概ね達成
		備考	(達成状況の説明) ①開南小学校給食調理場改築事業 2月に基本設計が完了した。2月に公聴会、3月に建築審査会を予定していたが、新型コロナウイルスの影響でそれぞれ令和2年度へ先送りとなった。 ②与儀小学校学校給食調理場改築事業 11月初旬にファシリティマネジメント審査を実施し、3月に審査承認を得た。 (今後の予定事項及び課題) ①開南小学校給食調理場改築事業 調理場の実施設計、既存調理場の解体設計及び解体工事を予定しているため、施設課や関係業者との調整に対応する。 ②与儀小学校学校給食調理場改築事業 調理場の基本設計を予定しているため、施設課や関係業者との調整に対応する。		
16	学校給食調理業務委託事業	目的・内容	「外部委託の推進に関する指針」に基づき、学校給食の効率的運営を図り経費削減をするため、本務調理員の退職者数を勘案し、学校給食の調理業務民間委託を計画的に進める。	主管課	学校給食課
		年度目標	大名学校給食センター及び真和志小学校の学校給食調理業務委託について、プロポーザル方式による業者選定を6月初めに行い、同月中に契約を締結する。	達成状況	達成
		備考	(達成状況の説明) 調理業務委託の継続実施及び大名学校給食センター、真和志小学校給食調理業務の契約を締結した。 (今後の予定事項及び課題) 令和2年7月に契約更新となる3調理場(安謝、古蔵、天久給食センター)について、選定委員会を開催し、事業候補者の選定を行い、契約の締結及び新業者の委託業務を開始する。		

令和元年度 課長マネジメント一覧表

事務事業名					
17	教育課題調査研究事業	目的・内容	標準学力調査を実施し、学力向上対策の基礎資料とする。学習指導要領に基づいた内容で、全国的水準に照らし、妥当性、信頼性の高い調査・分析を実施することにより学力状況が把握でき、学校全体の重点指導内容や指導改善に有効な資料を提供する。	主管課	教育研究所
		年度目標	①標準学力調査に係る全国平均正答率を100とした場合の本市との比が、中1国語97.3以上、数学97.1以上、中2国語96.0以上、数学93.3以上。 ②語彙力や計算力を伸ばす取組について全職員で共有し、継続的な取組を図っている市内中学校が70%以上。 ③標準学力調査結果を受けて実施する研修や提供した資料を授業改善に向けて有効に活用した市内中学校の達成率が80%以上。	達成状況	概ね達成
		備考	(達成状況の説明) ・中1国語・数学、中2国語・数学において、年度目標①を達成することができなかった。 ・学力調査結果を基に、本市の課題を踏まえた授業改善の手立てとして「結果概要」を配布した。 ・年度目標②の達成率は94%、年度目標③の達成率は82%であった。各校の取組アンケート調査結果から、すべての中学校において、調査結果について分析・考察を行い、授業の工夫改善に生かしたことが分かった。また、放課後学習活動等に位置づけ、組織的継続的に課題改善に向けて取り組む学校が増えている。(今後の予定事項及び課題) ・課題改善授業実践研修において、次年度も引き続き管理職に参加していただき、学校全体で取り組むといった校内体制づくりの具体的な支援を継続して行なう。 ・教科での取り組みだけでなく、学校全体あるいは家庭と連携した組織的継続的な取り組みを紹介する資料を配付する。		
18	情報セキュリティと情報モラル指導及びプログラミング教育の充実	目的・内容	各学校における情報セキュリティの確保を目指す。また、児童生徒に対する情報モラル指導やプログラミング教育を通して、児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークに慣れ親しみ、主体的・積極的に活用できるよう取り組む。	主管課	教育研究所
		年度目標	①教職員の情報セキュリティ、情報モラルについて各学校への伝達、周知を図るため、情報担当者研修会、経年研修へ位置づけ講義を実施する。 ②校内における情報モラル教育の研修及びインストラクター派遣事業の積極的な活用を継続して呼びかける。また、研修の支援を行い、年間75時間以上のインストラクターの活用を目指す。 ③インストラクター派遣事業を活用して、教職員向けのプログラミング操作研修を全小学校で実施する。 ④ICT機器を活用することで、主体的・積極的に学習に取り組むようになった児童生徒の達成率75%以上。	達成状況	概ね達成
		備考	(達成状況の説明) ①情報セキュリティ・モラルに関する研修を、担当者研修会及び経年研修において実施することができた。(対象となるすべての研修で周知済) ②インストラクター派遣事業の実施状況は80時間中80時間(100%)。 ③小学校プログラミング研修の実施状況は36校中23校(64%)。 ④ICT機器を活用することで、主体的・積極的に学習に取り組むようになった児童生徒の達成率85%(電子黒板活用による学習に対する意欲調査)。(今後の予定事項及び課題) ①情報セキュリティ、情報モラルについては、情報担当者だけでなく、普段の教育の中で指導できるように意識を高めるための研修会を企画する。 ②インストラクター派遣事業の活用に関わりがあるため、校長会、教頭会等を通して呼びかけを行う。 ③プログラミング教育の授業づくりについて外部講師を招いて事例を基にした研修会を企画する。また、プログラミング教育に関する最新の情報を収集し、各学校へ周知する。 ④ICT機器の積極的な活用に向けて、研修会や講座を企画する。		

令和元年度 課長マネジメント一覧表

事務事業名				
19	老朽化した給食センターの維持管理	目的・内容	<p>真和志給食センター(S53年建築)、首里給食センター・小禄給食センター(H元年建築)、城岳給食センター(S57年建築)と、4センターの老朽化が進んでおり、屋根や壁等からの漏水、サビや粉塵等の落下があり、安全衛生上支障が出ている。各給食センターごとに年間の修繕計画をたて予算の効率的執行に留意しながら、施設の維持管理を行う。</p> <p>特に築41年が経過する真和志センターの貯水槽(受水槽・高架水槽)の老朽化が進行して、地震等により隣家へ倒壊の危険があるため、今年度解体、撤去する。</p>	<p>主管課</p> <p>学校給食センター</p>
		年度目標	<p>①各センターにおいて、随時施設の点検を行い、給食に影響が出ないように修繕の緊急度ランクを設定・調整し、適切な予算執行を図る。</p> <p>②真和志給食センターの貯水槽解体や駐車場整備を含め10月までに完了する。</p>	<p>達成状況</p> <p>達成</p>
		備考	<p>(達成状況の説明)</p> <p>年度目標②真和志給食センターの貯水槽解体工事及び駐車場補修工事について、給食実施に影響がないように夏休みに実施し、当初予定より早めに終えた。また、修繕に関しては、給食に影響が出ないように修繕の緊急度等を調整し、予算を執行した。</p> <p>(今後の予定事項及び課題)</p> <p>施設が老朽化しているため、当初予定していない修繕が所々発生している。各施設の状況を把握し、限られた予算の中で、関係機関と連携し、給食に支障が出ないように工夫する必要がある。</p>	